

Q & Aの例 (案)

1. 基本的な事項に関する問い

(2) 字体, 字形, 書体, 字種などの用語について

① 漢字の「字体」と「字形」とは、それぞれ、どのようなもので、どのような違いがあるのですか。常用漢字表の考え方を説明してください。

まずは、字体から説明しましょう。常用漢字表の「表の見方及び使い方」には「字体は文字の骨組みである」とあります。試しに、「き彫りの熊」の「き」, 「もく曜日」の「もく」に当たる漢字を思い浮かべてください。

脳裏に浮かんだ形は、そのままに取り出すことはできません。しかし、きっと今この説明を読んでいる人それぞれが、横棒と、その真ん中付近の少し上から下に突き抜ける縦棒、そして、その横棒と縦棒が交差するところ辺りから、左下、右下にそれぞれ斜めに下ろした棒、というような形を思い浮かべている点では共通しているはずですが、つまり、この文字を知っている人たちの間には、はっきりと具体的な形に固定してはいないものの、この文字に関して、ある抽象的な形とでも言うべきものが共有されていると考えられます。それがこの漢字の骨組み、つまり字体です。

では、この字を実際に書いてみましょう。ある字体を実際に書く、つまり、目に見える形にすることについて、この指針の中では、「字体を具現化する」といった言い方をすることがあります。

木 木 木 木 木 木

ここに挙げられた字は、全て「き彫りの熊」の「き」, 「もく曜日」の「もく」という漢字であると読み取れます。それぞれ少しずつ形が違っていますが、全て同じ字体を備えているので、「き」「もく」に当たる漢字として判別されるのです。このように、実際に目に見える文字は、字体が具現化されたものとして捉えられます。

そして、「字形」とは、実際に目に見える文字の形状のことを言います。上に並んだ漢字を見比べてください。先ほども言ったように、それぞれの形状は少しずつ違っています。この違いは、「字形の違い」として説明できます。文字の骨組みである字体は、実際の文字として表されると、その文字であると判別できる範囲で、いろいろな字形になり得ます。複数の人が同じ文字を書いたときに生じる形の違いや、一人の人がある文字を書くたびに生じる微妙な形の差、また、印刷文字の種類の違いなども、それぞれ、字形の違いとして説明できます。

このように、字体は、それぞれの文字の形について社会で共有されている抽象的な概念であり、それが具現化されると実際に目に見える文字になります。そして、その具体的な個別の文字の形状を字形と言います。